

マニフェスト推進委員会  
令和4年度第一回委員会 議事次第

場所 公益社団法人全国産業資源循環連合会 会議室 (web 会議)  
日時 令和4年4月5日 (火) 10時00分から12時00分まで

次第

1. 開会 10:00
2. 連合会挨拶 10:00～10:03(3分)
3. 委員長挨拶 10:03～10:05(2分)
4. 前回出されたご意見について 10:05～10:15(説明3分/質疑7分)  
・マニフェスト印刷等の他社見積について (資料1)
5. 議題 10:15～11:25 説明10分/討議60分)
  - (1) 頒布価格について (資料2、参考資料1～4)
  - (2) 普及啓発頒布推進事業費等について (資料2、参考資料1～4)
6. 今後のスケジュールについて 11:25～11:35(説明5分/質疑5分) (資料3)
7. その他 11:35～11:40(5分)
8. 閉会

[配付資料]

次第

出欠票

資料1 マニフェスト印刷等の他社見積について

資料2 マニフェスト譲渡価格等の改定に係る試算

資料3 マニフェスト推進委員会の今後のスケジュール(令和3年度第1回マニフェスト推進委員会 資料3)

参考資料1 マニフェストに係る意見や指摘について(令和3年度第1回マニフェスト推進委員会 資料1)

参考資料2 紙マニフェスト 頒布価格等(令和3年度第1回マニフェスト推進委員会 資料5)

参考資料3 紙マニフェスト在庫数前年同月比較一覧(2022年3月現在)

参考資料4 紙マニフェスト頒布数の推移

参考資料5 前回議事録(令和3年度第1回マニフェスト推進委員 議事録)

## 令和4年度第1回マニフェスト推進委員会出欠表

開催日時：令和4年4月5日（10:00～12:00）

開催場所：公益社団法人全国産業資源循環連合会 会議室（Web開催）

	役職	氏名	会議	備考
1	委員長	鈴木 昇	○	一般社団法人宮城県産業資源循環協会 会長
2	委員	佐藤 長一郎	×	<b>代理出席</b> 一般社団法人福島県産業資源循環協会 星一 専務理事兼事務局長
3	委員	岩楯 保	○	一般社団法人千葉県産業資源循環協会 常任理事
4	委員	曾根 剛	○	一般社団法人新潟県産業資源循環協会 副会長
5	委員	大坪 敬明	○	一般社団法人岐阜県産業環境保全協会 専務理事
6	委員	松本 清信	○	一般社団法人奈良県産業廃棄物協会 副会長
7	委員	政藤 信夫	○	一般社団法人広島県資源循環協会 専務理事
8	委員	河野 照三	×	<b>代理出席</b> 一般社団法人香川県産業廃棄物協会 松本英高 会長
9	委員	森岡 航	○	一般社団法人沖縄県産業資源循環協会 理事
合計			9	

令和4年3月25日 現在

## マニフェスト印刷等の他社見積もりについて

見積もり等料金一覧(円/セット 税抜)

	直行用 連帳	直行用 単票	積替用 連帳	積替用 単票
現状	6.30	6.84	11.13	11.93
他社 A 社(2016 年 6 月時)	11.79	12.13	14.22	14.67
他社 A 社(2022 年 3 月時)	21.50	22.50	28.50	29.50

- 今般改めて、A社に対して、2020 年度の連合会紙マニフェスト頒布数実績をもとに、見積もりを依頼した。
- 本見積もりは、倉庫保管・配送など、現状の印刷会社と同様の業務を委託した場合の金額である。
- A社には、ノーカーボン紙マニフェストの見積もりも依頼したが、ノーカーボン紙の品質は向上しているものの、伝票の 5 年間保存の保証ができないことを理由に、見積もり自体を辞退された。
- A社の話では、配送を現在の月～金の毎日から週一回等に減らせば、コスト削減が見込まれるとのことであった。

# 資料2

## マニフェスト譲渡価格等の改定に関する試算

本試算は製品価格の値上げを反映していない。  
値上げを反映した資料は策定予定

■連合会マニフェスト

単位：円・税込

### (1)現在の配分 <協会9.8:連合会6.2>を踏襲

8,165,000 枚(2020年10月～2021年9月実績)

頒布数 (試算の想定)	頒布 単価	印刷費等 ※1	協会			連合会		
			単価	収益	収益増減	単価	収益	収益増減
現状(実績)	26	10	9.80	80,017,000	(現状)	6.20	50,623,000	(現状)
次期見込み(5%減)※2	26	10	9.80	76,016,150	-4,000,850	6.20	48,091,850	-2,531,150
			次期見込みとの差			次期見込みとの差		
現状から10%減	27	10	10.41	76,497,885	481,735	6.59	48,426,615	334,765
	28	10	11.03	81,053,955	5,037,805	6.98	51,292,530	3,200,680
	29	10	11.64	85,536,540	9,520,390	7.36	54,084,960	5,993,110
	30	10	12.25	90,019,125	14,002,975	7.75	60,114,813	12,022,963
現状から15%減	27	10	10.41	72,248,003	-3,768,148	6.59	45,736,248	-2,355,603
	28	10	11.03	76,550,958	534,808	6.98	48,442,945	351,095
	29	10	11.64	80,784,510	4,768,360	7.36	51,080,240	2,988,390
	30	10	12.25	85,018,063	9,001,913	7.75	53,786,938	5,695,088

単価の小数点以下3位を四捨五入処理

### (2)連合会収益のみ増

8,165,000 枚(2020年10月～2021年9月実績)

頒布数 (試算の想定)	頒布 単価	印刷費等 ※	協会			連合会		
			単価	収益	収益増減	単価	収益	収益増減
現状(実績)	26	10	9.80	80,017,000	(現状)	6.20	50,623,000	(現状)
次期見込み(5%減)※2	26	10	9.80	76,016,150	-4,000,850	6.20	48,091,850	-2,531,150
			次期見込みとの差			次期見込みとの差		
現状から10%減	27	10	9.80	72,015,300	-4,000,850	7.20	52,909,200	4,817,350
	28	10	9.80			8.20	60,257,700	12,165,850
	29	10	9.80			9.20	67,606,200	19,514,350
	30	10	9.80			10.20	74,954,700	26,862,850
現状から15%減	27	10	9.80	68,014,450	-8,001,700	7.20	49,969,800	1,877,950
	28	10	9.80			8.20	56,910,050	8,818,200
	29	10	9.80			9.20	63,850,300	15,758,450
	30	10	9.80			10.20	70,790,550	22,698,700

※1 印刷費等：産廃マニフェストの種類により6.30円～11.93円の幅がある。

本資料では、この幅の平均的な値として10円と表記している。

(参考)印刷事業 委託業務内容の概要

- ・マニフェストの印刷、製造、梱包、保管
- ・マニフェストの配送、納入
- ・配送に起因する不良品の交換(印刷会社の買い取り)
- ・各種レポート 他

※2 これまでの実績から、前年比5%程度の減の見込み。

■建設マニフェスト

(1)現在の配分 <協会7.0:連合会0.8>を踏襲

9,500,000 枚(2020年10月～2021年9月実績)

割合 (試算の想定)	頒布 単価	仕入れ	協会			連合会		
			単価	収益	収益増減	単価	収益	収益増減
現状(実績)	25	17.20	7.00	66,500,000	(現状)	0.80	7,600,000	(現状)
次期見込み(5%減)※2	25	17.20	7.00	63,175,000	-3,325,000	0.80	7,220,000	-380,000
			次期見込みとの差			次期見込みとの差		
現状から10%減	26	17.20	7.90	67,545,000	4,370,000	0.90	7,695,000	475,000
	27	17.20	8.79	75,154,500	11,979,500	1.01	8,635,500	1,415,500
	28	17.20	9.69	82,849,500	19,674,500	1.11	9,490,500	2,270,500
現状から15%減	26	17.20	7.90	63,792,500	617,500	0.90	7,267,500	47,500
	27	17.20	8.79	70,979,250	7,804,250	1.01	8,155,750	935,750
	28	17.20	9.69	78,246,750	15,071,750	1.11	8,963,250	1,743,250

単価の小数点以下3位を四捨五入処理

(2)連合会収益のみ増

9,500,000 枚(2020年10月～2021年9月実績)

割合 (試算の想定)	頒布 単価	仕入れ	協会			連合会		
			単価	収益	収益増減	単価	収益	収益増減
現状(実績)	25	17.2	7.0	66,500,000	(現状)	0.8	7,600,000	(現状)
次期見込み(5%減)※2	25	17.2	7.0	63,175,000	-3,325,000	0.8	7,220,000	-380,000
			次期見込みとの差			次期見込みとの差		
現状から10%減	26	17.2	7.0	59,850,000	-3,325,000	1.8	15,390,000	8,170,000
	27	17.2	7.0			2.8	23,940,000	16,720,000
	28	17.2	7.0			3.8	32,490,000	25,270,000
現状から15%減	26	17.2	7.0	56,525,000	-6,650,000	1.8	14,535,000	7,315,000
	27	17.2	7.0			2.8	22,610,000	15,390,000
	28	17.2	7.0			3.8	30,685,000	23,465,000

(3)協会7.0を7.4円に増・残りを連合会収益とする

9,500,000 枚(2020年10月～2021年9月実績)

割合 (試算の想定)	頒布 単価	仕入れ	協会			連合会		
			単価	収益	収益増減	単価	収益	収益増減
現状(実績)	25	17.2	7.0	66,500,000	(現状)	0.8	7,600,000	(現状)
次期見込み(5%減)※2	25	17.2	7.0	63,175,000	-3,325,000	0.8	7,220,000	-380,000
			次期見込みとの差			次期見込みとの差		
現状から10%減	26	17.2	7.4	63,270,000	95,000	1.4	11,970,000	4,750,000
	27	17.2	7.4			2.4	20,520,000	13,300,000
	28	17.2	7.4			3.4	29,070,000	21,850,000
現状から15%減	26	17.2	7.4	59,755,000	-3,420,000	1.4	11,305,000	4,085,000
	27	17.2	7.4			2.4	19,380,000	12,160,000
	28	17.2	7.4			3.4	27,455,000	20,235,000

※2 これまでの実績から、前年比5%程度の減の見込み。

## マニフェスト推進委員会の今後のスケジュール

日付	会議等	備考
2月21日	令和3年度第1回マニフェスト推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● これまで出された意見や指摘について</li> <li>● 当面の検討議題および検討スケジュールについて</li> <li>● 頒布価格、普及啓発頒布推進事業費の検討</li> <li>● その他</li> </ul>
3月8日	第60回理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マニフェスト推進委員会での検討状況の報告</li> </ul>
4月5日	令和4年度第1回マニフェスト推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 頒布価格、普及啓発頒布推進事業費の検討</li> <li>● 委員会案の取りまとめ・理事会への報告)</li> </ul>
5月上旬	(必要に応じて)令和4年度第2回マニフェスト推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 頒布価格、普及啓発頒布推進事業費の検討</li> <li>● 委員会案の取りまとめ・理事会への報告)</li> </ul>
5月24日	第61回理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 頒布価格、普及啓発頒布推進事業費について決議</li> </ul>
6月以降		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各正会員への周知、覚書の取り交わし等</li> </ul>
10月1日		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新頒布価格等の施行(予定)</li> </ul>

マニフェストに係る意見や指摘について

意見や指摘	これまでの対応や検討にあたっての課題 連合会の考え方等
(1) 印刷価格や卸値を抑えることについて	<p>■連合会マニフェスト</p> <p>① 現在の印刷会社の他に委託する場合、以下の課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 委託業務は、印刷梱包の他、倉庫保管や各正会員への配送手配も含まれる。加えて印刷ロット数が大きい。</li> <li>• このため、現在の印刷会社の他に対応できる印刷業者は少ない。</li> </ul> <p>② 以下の懸念理由により、現在の印刷会社との値下げ交渉は慎重な対応が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 灯油原価値上がり、紙単価値上がり等で、製作コストは値上がり要因しかない。</li> <li>• 印刷枚数が減っていることから、印刷価格の値下げは考え難い。印刷価格について連合会から切り出せば、それを機会に値上げを提案される可能性の方が高い。</li> </ul> <p>③ 現契約において、契約の変更は、期間満了の日から3ヶ月前までに申し出る必要がある。本契約の契約更新は1月1日のため、印刷価格の変更をすとしても令和5年1月以降となる。</p> <p>■建設マニフェスト</p> <p>① 建設六団体副産物対策協議会へ頒布価格等を相談(令和4年1月12日)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 建設六団体からは、「全産連との取決めは卸価格のみであり、小売価格25円/部についてはすべての窓口で揃えてもらっていた。全産連販売の建設マニフェストの小売価格1円/部(26円/部)値上げは全産連の自由裁量となるので、やむを得ない。」との回答。</li> </ul> <p>② 現契約において、契約の変更は、期間満了の日から1ヶ月前までに申し出る必要がある。本契約の契約更新は4月1日のため、卸価格の変更をすとしても令和5年4月以降となる。</p>
(2) ノーカーボン紙マニフェストの制作について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 平成28年第2回マニフェスト推進委員会(平成28年12月開催)にて、ノーカーボン紙マニフェスト試作品を配布したところ、カーボン紙に比較して転写文字が薄いことから、ノーカーボン紙マニフェスト制作に前向きな意見は出されなかつ</li> </ul>

	<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 利用者等からは、カーボンで手が汚れる等の意見はいただいているが、マニフェスト 5 年間保存のための耐久性や各票への文字の転写具合等の理由から、連合会マニフェストはノーカーボン紙ではなく、複写にカーボンを使用したマニフェストを発行している。</li> <li>• なお、ノーカーボン紙で制作した場合、現在のカーボン複写方式より制作費はアップする(ノーカーボン紙自体が高いため、当時で 2 円ほどの制作費アップの見積りであった)。</li> <li>• 一方、建設マニフェストは、公共工事においてマニフェストの写しの提出が求められるため、E票にもっと濃く複写できるようにしてほしいとの声があることから、ノーカーボン紙マニフェストの制作は検討しないと聞いている。</li> </ul>
(3) オンライン販売について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オンライン販売とした場合、各正会員が関与する業務を組み込んだ販売スキームとするのは難しい。</li> <li>• そのため、オンライン販売の導入にあたっては、現在連合会から各正会員へ支払っている普及啓発頒布推進事業費について、廃止を含めた見直しが必要となる。</li> </ul>
(4) 各正会員の独自印刷頒布(連合会マニフェスト著作権の利用)について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 正会員が著作権利用にあたっては、連合会の現在の収益に相当する額について、正会員から連合会に納めていただく必要がある。</li> <li>• なお独自印刷頒布をする場合には、マニフェスト頒布団体として、産業廃棄物適正処理推進センター基金へ出えん要請を受ける可能性がある。</li> <li>• 各正会員の独自印刷頒布をすると、連合会が印刷するロット数が減るため、1枚あたりのマニフェスト制作費が上がるのが想定される。そのため、各正会員の独自印刷頒布が進むと、いずれかの時点で連合会は現状の制作費を維持できなくなり、連合会から各正会員への譲渡廃止とせざるを得ない。</li> </ul>
(5) 連合会類似マニフェスト(デッドコピー)への対応について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 連合会の顧問弁護士は、類似マニフェストの法に基づく差止請求は難しいと旨の見解を過去に示している。</li> <li>• その後、事務局が弁理士へ相談をしたところ、連合会顧問弁護士と同様に、法に基づく当該マニフェストの頒布の差止請求は難しいとの見解であった。</li> <li>• 以上の弁護士等の見解を踏まえると、仮に連合会が差止請求をしても、類似マニフェストの頒布を止めていただけない可</li> </ul>



	<p>能性が高く、裁判による判断を仰いだとしても勝訴の可能性は低い。</p>
<p>(6) 連合会発行マニフェストの利用継続の依頼について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 少なくとも、連合会の役員および各正会員の役員にあっては、連合会マニフェストの利用継続をしていただくよう、今後、依頼をしていきたい。</li> </ul>

紙マニフェスト 頒布価格等

令和4年2月現在（税込）

マニフェスト種類	産廃マニフェスト	建設マニフェスト	
	令和元年10月 から	平成19年4月 から	平成19年3月 まで
頒布価格	26円	25円 (5円値下げ)	30円
協会の受け取り分 (普及啓発頒布推進事業費)	9.8円	7円 (据え置き)	7円
印刷・発送費等 (建設マニフェストは仕入値)	10円 ※1 (6.30円～11.93円)	17.2円 (3.8円値下げ)	21円
連合会収益	6.2円	0.8円 (1.2円減) ※2	2円

※1 産廃マニフェストの種類により、印刷・発送費は、6.30円～11.93円の幅がある。本資料では、この幅の平均的な値として10円と表記している。

※2 建設マニフェスト頒布価格は、平成19年4月に30円から25円に値下げ。

頒布価格5円の値下げに対して仕入値は3.8円の値下げ。

差額1.2円(5円-3.8円)については、**連合会収益を減として、協会の受け取り分7円は据え置いた。**

令和03年度マニフェスト 前年同月対比(セット数) 2022年3月現在

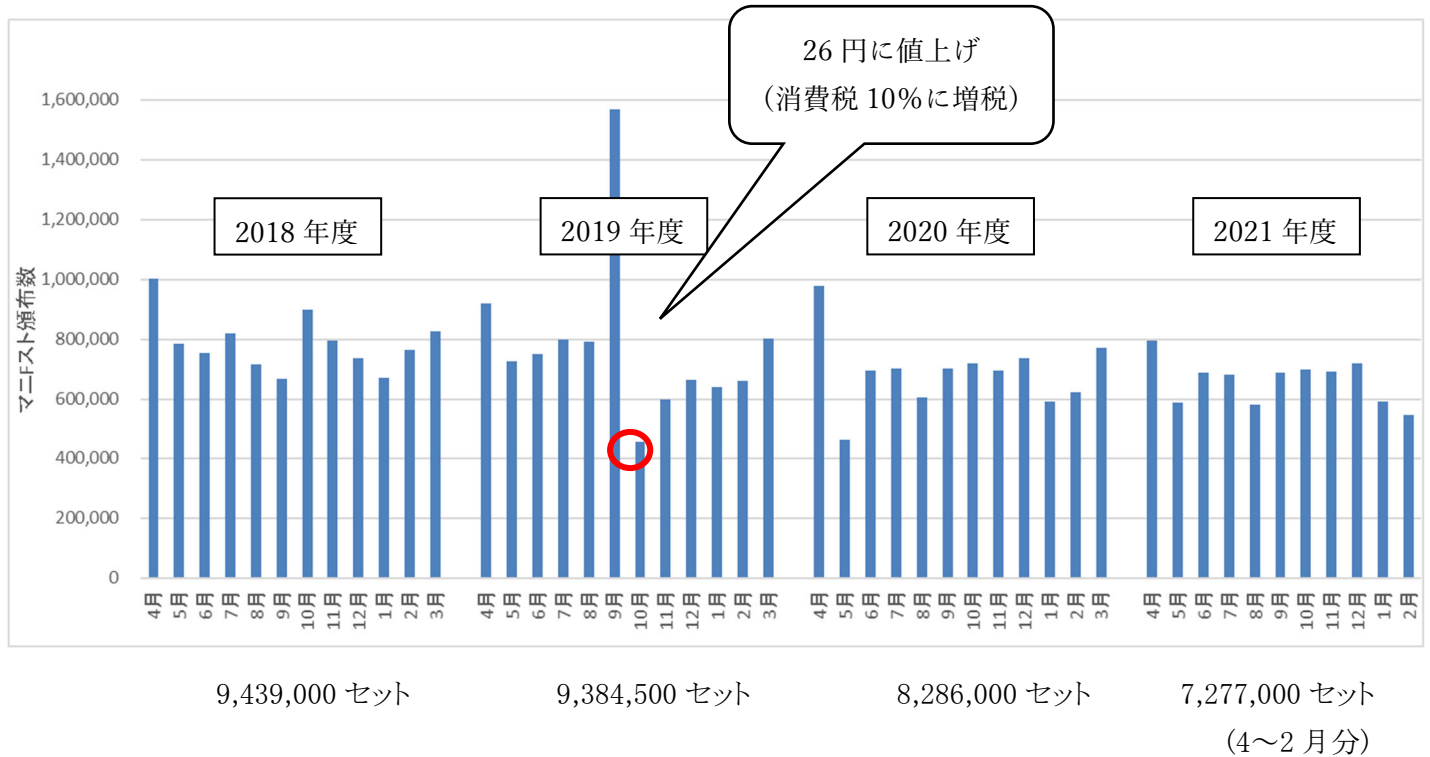
	連合会マニフェスト			建設マニフェスト			電マニ送り状		
	令和03年度	令和02年度	増減	令和03年度	令和02年度	増減	令和03年度	令和02年度	増減
4月	796,500	979,000	-182,500	914,500	1,005,000	-90,500	11,500	11,500	0
5月	589,000	460,000	129,000	619,500	600,500	19,000	4,000	6,000	-2,000
6月	687,500	695,500	-8,000	870,500	770,500	100,000	6,500	4,500	2,000
7月	683,500	701,500	-18,000	660,000	763,500	-103,500	7,500	10,000	-2,500
8月	581,000	606,500	-25,500	750,500	751,000	-500	5,000	6,500	-1,500
9月	688,500	704,500	-16,000	811,000	717,500	93,500	8,000	5,000	3,000
10月	701,000	718,500	-17,500	786,000	924,500	-138,500	10,500	4,500	6,000
11月	691,000	695,000	-4,000	904,500	792,000	112,500	1,000	6,500	-5,500
12月	718,500	738,000	-19,500	801,000	963,500	-162,500	9,000	5,000	4,000
1月	593,000	593,000	0	649,500	560,500	89,000	5,000	7,000	-2,000
2月	547,500	622,000	-74,500	661,000	769,000	-108,000	2,000	1,500	500
3月	-	772,500	-	-	864,500	-	-	10,000	-
計(4月~2月)	7,277,000	8,286,000	-236,500	8,428,000	9,482,000	-189,500	70,000	78,000	2,000

# 参考資料4

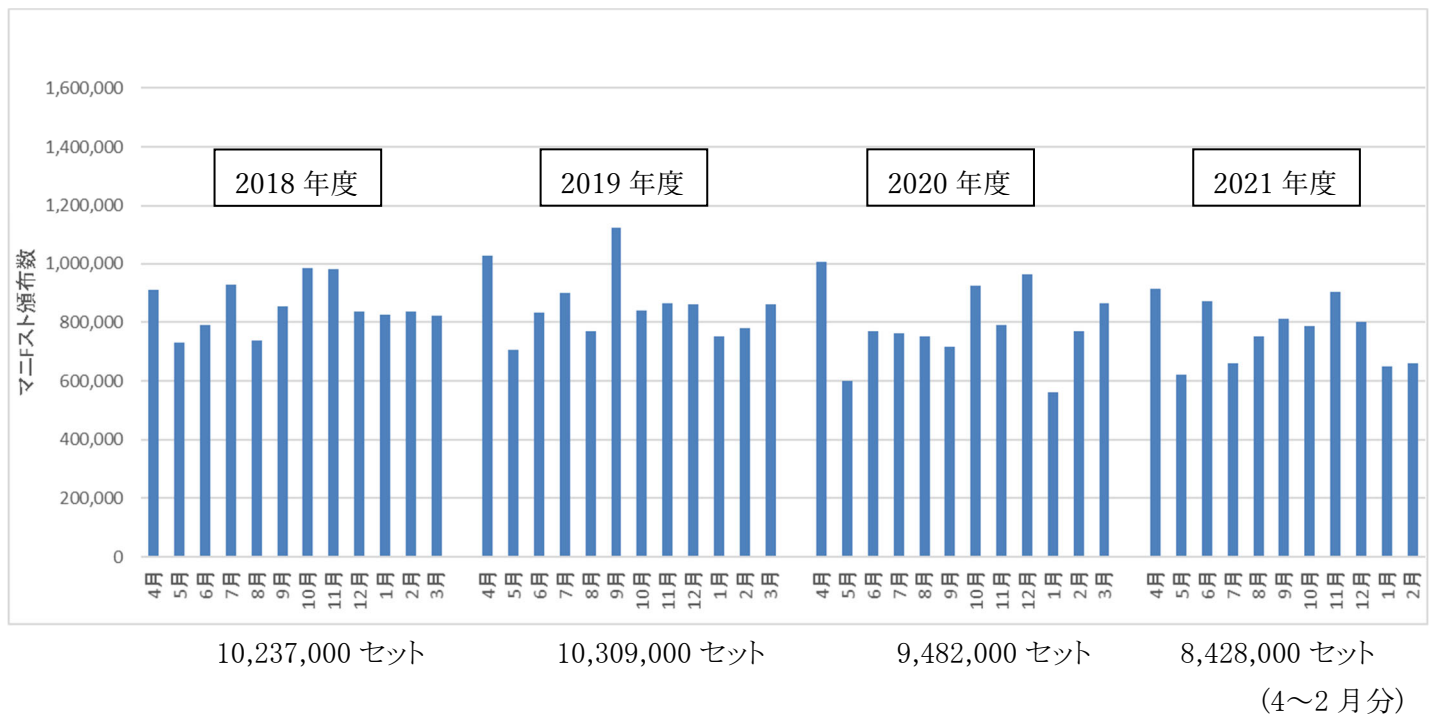
## 紙マニフェスト頒布数の推移

2018年度(平成30年度)から2021年度(令和3年度)2月まで

### 連合会マニフェスト



### 建設マニフェスト



## 令和3年度第1回マニフェスト推進委員会 議事録

日時:令和4年2月21日(月) 13時30分～15時30分

場所:公益社団法人全国産業資源循環連合会 会議室 (Web開催)

出席:<委員> 鈴木昇(委員長)、佐藤長一郎、岩楯保、曾根剛、松本清信、政藤信夫、  
松本英高(河野照三委員 代理)

<事務局>森谷賢、香川智紀、日浦朋子、横山大志

### 【配布資料】

- 次第
- 委員名簿

資料1 マニフェストに係る意見や指摘について

資料2 連合会の収支改善策について(連合会第59回理事会資料1)

資料3 マニフェスト推進委員会の今後のスケジュール

資料4 連合会マニフェスト・建設マニフェストについて(令和3年度第3回総務倫理委員会資料2に一部加筆)

資料5 紙マニフェスト 頒布価格等

参考資料1 令和3年度紙マニフェスト頒布数 前年同月比

参考資料2 紙マニフェスト頒布数の推移

参考資料3 前回議事録(令和元年度第1回マニフェスト推進委員会 議事録)

(当日追加資料) マニフェスト譲渡価格等の改定に関する試算

### 【議事】

#### 1. 開会

#### 2. 連合会挨拶

森谷専務が次のとおり挨拶した。

連合会の財政状況は、許可講習会の開催方式の変更により、連合会収入が約5500万円減少している。2021年の夏より総務倫理委員会にて、連合会の収支改善策を検討いただき、理事会にも報告した。その後、更に検討を進め、2022年1月14日の理事会では収支改善策については概ね了承頂いたが、議論すべき課題が一点残されている。これについては後で述べる。

連合会収支が大変厳しくなっている状況に関しては、許可講習会が対面形式からオンライン形式に代わったため、収入自体が約5500万円減少し、2022年度連合会予算を約6000万円の赤字で組まざるを得なくなった。

総務倫理委員会にてまとめた収支改善策は、大きく三つに分けられる。一つ目は、連合会

から環境者への出捐金の削減、あるいは協会や地域協議会の他、青年部協議会への支援金を減らすことである。二つ目は、業務主任者資格制度及び外国人技能実習生の実習試験機関に関する事業については、当面の本格実施を見送ることである。三つ目が、連合会マニフェスト及び建設マニフェストの頒布収入を増やすことである。三つ目の収支改善策を検討するため、マニフェスト推進委員会では、具体的な頒布価格の値上げ幅についてご議論頂き、できれば2022年5月の理事会にマニフェスト推進委員会の検討結果として報告いただきたいと考えている。

赤字額と収支改善策の実施による削減見込みに関しては、現状、2022年度予算は6000万円の赤字であるが、環境省への出捐金や協会等への支援金を半額にすることで約3000万円の改善、加えて連合会が行う調査を電子的な手段での実施に変更することなどにより約1000万円の経費節減を行うが、収支均衡のため更に約2000万円の赤字を減らしたいと考えている。マニフェストの頒布価格を上げることによって赤字の2000万円全額を解消することは現実的ではないが、大きな論点になると考えている。

先ほど2022年1月14日の理事会で、議論すべき点が残されていると申し上げた。それは連合会から各正会員に支払っている適正処理推進事業等活動支援金について当初の収支改善案では総額ベースで半額にするとしていたが、財政状況が厳しければ、来年度に限り凍結するという案も出され、本件について、2022年3月の理事会で決定いただくという点である。適正処理推進事業等活動支援金が凍結された場合、来年度予算の赤字額は、約1000万円になると見込んでいる。

このような状況を念頭に置きながら、マニフェスト頒布価格の値上げ、協会・連合会との収益分与、類似マニフェストの関係、建設マニフェスト販売価格との価格差等について、連合会の状況をご賢察頂くと共に協会における状況も十分加味の上、ご議論頂きたいと考えている。

### 3. 委員長挨拶

鈴木委員長が次のとおり挨拶した。

マニフェスト推進委員会は、コロナ禍のため、昨年度は予定していた委員会の開催を中止した。その前は2019年の開催であり、本日は3年ぶりの開催である。

コロナ禍による影響を連合会も受けており、収支が悪化している。コロナ禍により、許可等講習会の開催方式がオンライン講義になったことが主な理由である。

連合会の収支改善は喫緊の課題であり、連合会理事会で議論がなされている。今年1月に開催された連合会理事会にて、連合会の収支改善策の一つとして、マニフェスト推進委員会において、頒布価格の改定について検討を行い、改定は検討結果を基に令和4年秋を目途とすることが決定した。

本日は、この理事会での決議を受け招集するものであり、主たる議題として頒布価格の改定を討議いただきたい。

その他、マニフェストについては、連合会類似マニフェスト、いわゆる海賊版マニフェストの

問題、ノーカーボン紙マニフェストの制作など、これまで様々な指摘等があった。これまでの議論を振り返った上で、改めてどのような方向が考えられるかを協議したい。

#### 4. 委員紹介(委員名簿の配布)

委員名簿をもって委員紹介に変えた。

あわせて、河野委員((一社)香川県産業廃棄物協会・専務理事)に代わり、松本英高様((一社)香川県産業廃棄物協会・会長)が代理出席されている旨、報告した。

#### 5. マニフェストに係る意見や指摘について(報告等) (資料 1)

事務局が資料 1 を説明し、意見交換等をおこなったが、特に意見は出されなかった。

#### 6. 当面の検討議題および検討スケジュール (資料 2、3)

事務局が資料 2、3 を説明した。

当面の検討議題および検討スケジュールについて、資料のとおり、進めていくことを確認した。

#### 7. 議題(質疑応答・自由な意見交換) (資料 4、5 参考資料 1、2、当日追加資料)

事務局が資料 4、5、参考資料 1、2 および当日追加資料を説明し、討議を行った。

(なお、当日追加資料を委員会での意見を踏まえ修正したものは別紙である。)

次の意見が出された。

##### (1) 頒布価格について

- ・ (政藤委員)資料 1 で制作コストは値上がり要因しかないとのことだが、交渉次第で印刷会社に値上げを留まってもらえる状況なのか。  
→(事務局)連合会より制作単価を下げたいと交渉した際、資源価格やエネルギー価格の上昇を考えると制作単価を上げて欲しいとの提案を受け、全く逆方向の協議をせざるを得ないことになりかねないと考えている。
- ・ (香川県・松本委員)値上げもやむを得ないと考えている。値上げ幅については、全産連にて複数案を出して頂き、マニフェスト推進委員会で検討後、理事会で決定すれば良い。
- ・ (佐藤委員)北海道・東北地域協議会内の協会から、民間企業の類似マニフェストが非常に流行っており、売上 10%程度の減少だけではすまないのではないかと懸念があることから、値上げについては、慎重に検討をお願いしたいとの強い意見が出されている。
- ・ (曾根委員)一度離れた顧客が戻ってくることは難しいと考えている。仮に値上げをするのであれば、大量購入者への割引制度などを考えられないか。なお、今年度から新潟県協会では、新事業を検討する検討委員会を設け、検討を進めている。
- ・ (奈良県・松本委員)紙マニフェストは減少の一途であり、ペーパーレスと言われる中、い

つまでも紙manifestoばかりに固執しなくても良いのではないかと考えているが、急場しのぎにしかならないと思われる。

なお、印刷業者は何社に見積もりを取られたのか。見積もり取られたのがだいぶ過去のことであれば、また新たに見積もりを取られたらどうか。

- ・ (事務局) manifestoの頒布価格に関しては、manifestoの収益を一定の割合で協会と連合会で分け合っている。協会には、販売に伴う手数料として普及啓発頒布推進事業費を支払っているが、民間企業が単独で販売した際には、このような構造はなく、利益が出る価格を各社で設定している。これまで、協会と連合会で収益を分かち合ってきたため、直ちに見直せないが、こういった背景もあり、産廃manifestoであれば1枚当たり26円という価格が設定されている。

## (2) 収益改善方策について

- ・ (岩館委員) 電子manifestoの普及率は6割~7割近くとなっているが、残り3割程度は対応できていない。中間処理業者が電子manifestoを利用していても、利用していない事業者(対応が難しい零細な排出事業者等)も利用できるような仕組みを全産連で構築できないだろうか。現在の利用料金を何倍かに設定しても中間処理業者は電子manifestoを利用すると思われる。
  - (事務局) 連合会のみならず、振興センター自身が仕組みを構築することも可能と思われる。
  - (事務局) manifesto頒布価格の値上げによって一時的な収入増があったとしても2~3年程度と考えている。この間にできるだけ多くの新しい事業を検討し、準備する必要があると考えている。
  - (事務局) 環境省からの委託費や補助金などを獲得してはとのご意見を頂いたこともあり、環境省と連合会で同じ方向で実施できるものがあれば、相談しながら委託費の獲得に向けて努力をしたいと考えている。しかし、純益で1000万円を得ることは簡単ではないので、様々な事業を取り揃えながら赤字額を減らしたいと考えている。
- ・ (政藤委員) 電子manifestoの利用促進に向けて連合会と振興センターと協議の上、操作説明会等も含め新たな事業を掘り起こしていくことは考えられないか。
  - (事務局) 2022年度の電子manifesto運用支援事業について振興センター幹部と相談したところ、電子manifestoの普及率が70%を超えようとしている状況の中、普及のための事業は廃止したいとのことであった。なお、振興センター幹部からは、電子manifesto以外で振興センターと連合会、そして協会が共に行う何らかの事業は考えられないかとの意見が出された。

## (3) 今後の議論の方向性について

- ・ (鈴木委員長) 今後、manifesto推進委員会にて、議論を価格改定に向けて検討するべ



きなのか、また、賛否双方を持って議論を尽くした上で方向性を検討すべきなのか。委員の皆様から今後の議論の方向性について、ご意見を頂きたい。

→(香川県・松本委員) 方向性については、非常に難しい問題であると認識しており、最も状況を把握している全産連において、振興センターとの調整も含め、幾つかの方向性を示して頂き、マニフェスト推進委員会の中で検討の上、理事会で決定して行くべきである。

→(政藤委員) 値上げすれば、顧客が離れていくのは明らかであるため、値上げについては、もう少し慎重に検討した方が良いと考えている。検討に際しては、もう少し判断材料が欲しい。

→(岩館委員) 値上げは致し方ないと考えているが、非常に慎重に検討する内容である。2年間などの期限を設定した上での値上げなのか、協会との利益配分をどうするのかなどを再度検討する必要があるが、一時的に収入源を増やす考え方はあっても良い。

→(佐藤委員) この数年間の間に本格的な改善策を早急に検討すべき時期に来ている。値上げについては、慎重に検討したい。

→(曾根委員) 値上げすべきかどうか判断できかねる。考えをまとめきれていない。

→(奈良県・松本委員) 全産連で方向性を決めていただければどうか。

- ・(事務局) 理事会へ報告する内容として、頒布価格を値上げしたとしても、一時的な対応であるとの共通認識となる。次回の委員会では、2～3年の間に連合会にて多数の新規事業を検討していくことを前提に、値上げをせず毎年約5%の自然減が継続した場合や値上げによって約10%の減少が発生した場合など、複数の試算結果を見比べられる資料を作成するとともに、事務局としての考えを整理させて頂きたい。
- ・〈事務局〉最終的には、マニフェスト推進委員会としての考えとしてまとめただけければ
- ・ありがたい。
- ・(鈴木委員長) 全産連の収支改善策は喫緊の大きな課題である。自身は、マニフェストの頒布価格の改定について一定のご理解を頂戴したいとの理事会の諮問であると認識している。次回、4月にマニフェスト推進委員会が開催予定となっているが、本委員会という限られた中での議論であるが、委員の皆さんにご理解頂けるような方向性で委員会が少しでも前に進められればと考えている。

#### 8. その他(次回スケジュール 他)

- ・(事務局) 委員会の開催について、まだ時間的に余裕があり、慎重に審議を進めたいため、4月及び5月と2回開催させて頂ければ有難い。
- ・(事務局) 議論の結果については、議事録として整理させて頂き、本日お示した試算結果の資料についても、議事録とあわせて提出する。
- ・(事務局) 繰り返しではあるが、次回の委員会にて議論頂く資料の作成については、頒布価格を上げることは一時的な対応であり、数年程度の内には新規事業を多数立ち上げ、新

たな収入を得ていくという仮定の中で、連合会として、産廃マニフェスト、建設マニフェストの頒布価格を上げるとするならばどの程度の額となるのか、協会と連合会の収益がどのように見込まれるのかという資料を準備したいと考えている。

- ・ (事務局) 今後作成する資料を基にマニフェスト推進委員会としての考え方を整理し、理事会に報告したいため、ご検討頂きたいと考えている。

## 9. 閉会

以上で閉会した。

マニフェスト譲渡価格等の改定に関する試算(委員会意見を踏まえて修正版)

■連合会マニフェスト

単位：円・税込

(1)現在の配分 <協会9.8:連合会6.2>を踏襲

8,165,000 枚(2020年10月~2021年9月実績)

頒布数 (試算の想定)	頒布 単価	印刷費等 ※1	協会			連合会		
			単価	収益	収益増減	単価	収益	収益増減
現状(実績)	26	10	9.80	80,017,000	(現状)	6.20	50,623,000	(現状)
次期見込み(5%減)※2	26	10	9.80	76,016,150	-4,000,850	6.20	48,091,850	-2,531,150
<b>次期見込みとの差</b>								
現状から10%減	27	10	10.41	76,497,885	481,735	6.59	48,426,615	334,765
	28	10	11.03	81,053,955	5,037,805	6.98	51,292,530	3,200,680
	29	10	11.64	85,536,540	9,520,390	7.36	54,084,960	5,993,110
	30	10	12.25	90,019,125	14,002,975	7.75	60,114,813	12,022,963
現状から15%減	27	10	10.41	72,248,003	-3,768,148	6.59	45,736,248	-2,355,603
	28	10	11.03	76,550,958	534,808	6.98	48,442,945	351,095
	29	10	11.64	80,784,510	4,768,360	7.36	51,080,240	2,988,390
	30	10	12.25	85,018,063	9,001,913	7.75	53,786,938	5,695,088

単価の小数点以下3位を四捨五入処理

(2)連合会収益のみ増

8,165,000 枚(2020年10月~2021年9月実績)

頒布数 (試算の想定)	頒布 単価	印刷費等 ※	協会			連合会		
			単価	収益	収益増減	単価	収益	収益増減
現状(実績)	26	10	9.80	80,017,000	(現状)	6.20	50,623,000	(現状)
次期見込み(5%減)※2	26	10	9.80	76,016,150	-4,000,850	6.20	48,091,850	-2,531,150
<b>次期見込みとの差</b>								
現状から10%減	27	10	9.80	72,015,300	-4,000,850	7.20	52,909,200	4,817,350
	28	10	9.80			8.20	60,257,700	12,165,850
	29	10	9.80			9.20	67,606,200	19,514,350
	30	10	9.80			10.20	74,954,700	26,862,850
現状から15%減	27	10	9.80	68,014,450	-8,001,700	7.20	49,969,800	1,877,950
	28	10	9.80			8.20	56,910,050	8,818,200
	29	10	9.80			9.20	63,850,300	15,758,450
	30	10	9.80			10.20	70,790,550	22,698,700

※1 印刷費等：産廃マニフェストの種類により6.30円~11.93円の幅がある。

本資料では、この幅の平均的な値として10円と表記している。

(参考)印刷事業 委託業務内容の概要

- ・マニフェストの印刷、製造、梱包、保管
- ・マニフェストの配送、納入
- ・配送に起因する不良品の交換(印刷会社の買い取り)
- ・各種レポート 他

※2 これまでの実績から、前年比5%程度の減の見込み。

■建設マニフェスト

(1)現在の配分 <協会7.0:連合会0.8>を踏襲

9,500,000 枚(2020年10月～2021年9月実績)

割合 (試算の想定)	頒布 単価	仕入れ	協会			連合会		
			単価	収益	収益増減	単価	収益	収益増減
現状(実績)	25	17.20	7.00	66,500,000	(現状)	0.80	7,600,000	(現状)
次期見込み(5%減)※2	25	17.20	7.00	63,175,000	-3,325,000	0.80	7,220,000	-380,000
次期見込みとの差					次期見込みとの差			
現状から10%減	26	17.20	7.90	67,545,000	4,370,000	0.90	7,695,000	475,000
	27	17.20	8.79	75,154,500	11,979,500	1.01	8,635,500	1,415,500
	28	17.20	9.69	82,849,500	19,674,500	1.11	9,490,500	2,270,500
現状から15%減	26	17.20	7.90	63,792,500	617,500	0.90	7,267,500	47,500
	27	17.20	8.79	70,979,250	7,804,250	1.01	8,155,750	935,750
	28	17.20	9.69	78,246,750	15,071,750	1.11	8,963,250	1,743,250

単価の小数点以下3位を四捨五入処理

(2)連合会収益のみ増

9,500,000 枚(2020年10月～2021年9月実績)

割合 (試算の想定)	頒布 単価	仕入れ	協会			連合会		
			単価	収益	収益増減	単価	収益	収益増減
現状(実績)	25	17.2	7.0	66,500,000	(現状)	0.8	7,600,000	(現状)
次期見込み(5%減)※2	25	17.2	7.0	63,175,000	-3,325,000	0.8	7,220,000	-380,000
次期見込みとの差					次期見込みとの差			
現状から10%減	26	17.2	7.0	59,850,000	-3,325,000	1.8	15,390,000	8,170,000
	27	17.2	7.0			2.8	23,940,000	16,720,000
	28	17.2	7.0			3.8	32,490,000	25,270,000
現状から15%減	26	17.2	7.0	56,525,000	-6,650,000	1.8	14,535,000	7,315,000
	27	17.2	7.0			2.8	22,610,000	15,390,000
	28	17.2	7.0			3.8	30,685,000	23,465,000

※2 これまでの実績から、前年比5%程度の減の見込み。